

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	救急・麻酔・集中治療医学(Introduction to Medicine、Anesthesiology and Intensive Care Medicine)		
ナンバリングコード	S30438	大分類 / 難易度 科目分野	保健医療学科 / 応用レベル / 臨床医工学
単位数	1	配当学年 / 開講期	3 年 / 後期
必修・選択区分	コース必修:臨床医工学コース 選択:診療放射線学コース、臨床検査学コース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	S014051	クラス名	-
担当教員名	相川 久幸		
履修上の注意、 履修条件	臨床医工学コース学生は必ず履修すること		
教科書	好きになる、麻酔学 第2版(横山武志、諏訪邦夫、講談社) 好きになる救急医学(小林國男、講談社)		
参考文献及び指定図書			
関連科目			

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【ディプロマ・ポリシー1】				
【ディプロマ・ポリシー2】	幅広い教養と倫理観を基盤として、診療放射線学、臨床検査学、臨床医工学のいずれかの専門分野に関する医療技術の知識と技能を修得できている。	100点		
【ディプロマ・ポリシー3】				
【ディプロマ・ポリシー4】				

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
期末試験結果の100点満点の60点以上を合格とする。課題のフィードバックは次回以降の講義中に行う。

○基本情報		
授業の目的	本科目では、臨床工学技士として必要な救急医学・麻酔・集中治療医学分野の臨床医学的知識について学修する	
授業の概要	急性期医療の中で使用される医療機器の運用管理方法と対象となる疾患についても理解を深める。さらに、災害医療や新興感染症によるパンデミックによって重症化した患者に対する救急・集中治療、麻酔科臨床工学技士に必要とされる麻酔に関する基本的知識も身に付ける。具体的な教科内容には、麻酔科学(麻酔科学の歴史、手術室での麻酔、全身麻酔、脊髄くも膜下麻酔、硬膜外麻酔、局所麻酔、伝達麻酔、麻酔器、術中モニター、ペインクリニック、各種神経ブロック、ペインクリニック対象疾患、心肺脳蘇生、集中治療での呼吸・循環・術後管理)、集中治療、救急医学(集中治療の態勢と特徴、患者管理、一般救急措置、救急医療体制)、手術医学(感染防止、手術用機器、麻酔関連機器、モニタ機器)の内容を含む。	
授業の運営方法	(1)授業の形式	「講義形式」
	(2)複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3)アクティブ・ラーニング	「該当なし」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目		

○その他
尚、本講義科目の実時間は1コマ120分とする。

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	救急・麻酔・集中治療医学 (Introduction to Medicine、Anesthesia)	授業コード	S014051
学修内容				
1. 【麻酔科学】麻酔の基礎知識(麻酔科学の歴史、手術室での麻酔)について学修する。				
予習	教科書①(イントロダクション)(第2章:麻酔の歴史)(第3章:術前回診)を熟読しておくこと			(約2.0h)
復習	講義内容を踏まえて、麻酔の基礎知識について纏めること。			(約2.0h)
2. 【麻酔科学・手術医学】手術室での麻酔(麻酔器・麻酔関連機器・モニタ機器・術中モニタ・手術用機器・感染防止)について学修する。				
予習	教科書①(第1章:静脈路確保)(第4章:麻酔の準備)を熟読しておくこと。			(約2.0h)
復習	麻酔導入法と麻酔器の管理について纏めておくこと。また、各自で静脈路確保の手技についてラボで反復練習			(約2.0h)
3. 【麻酔科学・手術医学】手術室での麻酔(全身麻酔、脊髄くも膜下麻酔、硬膜外麻酔、局所麻酔、伝達麻酔)、ペインクリニック(各種神経ブロック、ペインクリニックの対象疾患)について学修する。				
予習	教科書①(第6章:麻酔維持)(第7章:覚醒)を熟読しておくこと。			(約2.0h)
復習	全身麻酔と局所麻酔、ペインクリニックの内容について纏めておくこと			(約2.0h)
4. 【集中治療・救急医学】集中治療での役割(呼吸管理・循環管理・術後管理)と集中治療の体制(ICU、CCU、NICU)と特徴及び患者管理について学修する。				
予習	教科書①(第8章:呼吸と血液と酸素)(第9章:体内の水分量と輸液)及び教科書②(第4章:呼吸・循環と心肺			(約2.0h)
復習	集中治療管理と患者モニタリングについて纏め、ショックの概念と治療法と合併症について纏めておくこと。			(約2.0h)
5. 【麻酔科学】心肺脳蘇生と一般的救急措置について学修する。				
予習	教科書②(第5章:心肺蘇生法を修得しよう)(第7章:救急蘇生室での救命処置)			(約2.0h)
復習	BLSとALSの救急蘇生法についてラボで反復練習すること。			(約2.0h)
6. 【集中治療・救急医学】外傷・熱傷・急性中毒に対する患者管理について学修する。				
予習	教科書②(第8章:外傷)(第9章:熱傷)(第10章:急性中毒)について熟読しておくこと。			(約2.0h)
復習	外傷・熱傷・急性中毒について講義内容を踏まえて、病態と治療法を纏めておくこと。			(約2.0h)
7. 【集中治療・救急医学】救急医療体制・災害医療について学修する。				
予習	教科書②(第13章:救命救急センターでみる代表的な内因性の病態)(第15章:救命救急センターICUでの患			(約2.0h)
復習	救急医療体制と災害医療について講義の内容について纏めておくこと。			(約2.0h)
8. 救急医療の流れと展望・まとめ				
予習	教科書②(第18章:救急医療の流れと展望)について熟読すること。			(約2.0h)
復習	救急・麻酔・集中治療医学で履修した内容について総復習しておくこと(ハンズオン含む)。			(約2.0h)

○授業計画	科 目 名	救急・麻酔・集中治療医学 (Introduction to Medicine、Anesthe	授業コード	S014051
	担当教員	相川 久幸		
学修内容				
9. 期末試験				
予習				
復習				
10.				
予習				
復習				
11.				
予習				
復習				
12.				
予習				
復習				
13.				
予習				
復習				
14.				
予習				
復習				
15.				
予習				
復習				
16.				
予習				
復習				